

トゥース フェアリー

歯医者さんと患者さんですすめる社会貢献活動

# TOOTH FAIRY

## Annual Report 2014



フェアリーが届けた  
国内の子どもたちへの14のこと

貧困と闘う海外の子どもたちへ学校と歯科検診を!



TOOTH  
FAIRY  
トゥース フェアリー

# CONTENTS

TOOTH FAIRYとは? ..... p.3  
 2014年度 年間スケジュール ..... p.4

## Project 1

(国内で難病と闘う子どもと家族の支援)

**チャレンジキッズプロジェクト** ..... p.5  
 がんばれ共和国 ..... p.8  
 そらぶちキッズキャンプ ..... p.9  
 小児(1型)糖尿病キャンプ ..... p.10  
 ウィッシュ・バケーション ..... p.11  
 入院中のレスパイト アートによる  
 レスパイト・クリニックハウスの育成 ..... p.12  
 日常の支援 こどものホスピスプロジェクト ..... p.13  
 施設建設・整備事業紹介 ..... p.14  
 ・小児レスパイト施設の整備(宮城県、熊本県)  
 ・小児レスパイト施設「奈良親子レスパイトハウス」の改修  
 ・難病児専用キャンプ場の医療設備、遊具の整備

## Project 2

(国外で貧困と闘う子どもの支援)

**スクールプロジェクト** ..... p.16  
 学校建設事業 ..... p.17  
 ミャンマー建設校一覧 ..... p.18  
 ミャンマー歯科ボランティアツアー ..... p.20  
 数字でみる TOOTH FAIRY ..... p.24  
 TOOTH FAIRY Q&A ..... p.25  
 これからの TOOTH FAIRY  
 スタッフからのご挨拶 ..... p.26

# TOOTH FAIRYとは?

全国の歯科医師と患者様の協力により、  
 治療上撤去した不要な金属(金歯・銀歯など)を集め寄付金に換えて、  
 難病や貧困と闘う子どもたちに  
 夢と笑顔をプレゼントするプロジェクトです。  
 実施する事業は資金援助だけでなく、  
 ボランティアで歯科医師の技術協力をいただき、  
 口腔ケアの重要性を啓発しています。



## プロジェクト名由来

TOOTH FAIRY (歯の妖精)とは、抜けた乳歯を枕元に置いて寝ると、歯の妖精が夜中にこっそりもらいに来て、子どもたちへのプレゼントに交換してくれるという、西洋のおとぎ話です。TOOTH FAIRYプロジェクトという名称は、このおとぎ話にちなんでつけられたもので、歯科撤去金属のご寄付により、国内外の子どもたちに夢や笑顔を届けることを目的にしています。

## 実施中のプロジェクト

### チャレンジキッズプロジェクト

難病や重い障害と闘っている子どもたちとその家族に対する支援は、欧米諸国と比較して大きなおくれをとっています。チャレンジキッズプロジェクトでは、こうした子どもと家族の支援を進めています。

### スクールプロジェクト

途上国では、貧困が原因で将来に夢を描くことすらできない子どもたちが大勢います。スクールプロジェクトでは、途上国の子どもたちが直面する貧困の連鎖を断つことを目的に、学校建設事業を進めています。

# 2014

## 2014年度 TOOTH FAIRY年間スケジュール

4月20日~22日  
ウィッシュ・バケーション実施。



4月27日  
POIC® 研究会・総会にてプレゼン

7月~  
チャイルド・ケモ・ハウス 若者世代の小児がん患者へのサポートプログラム 検討会実施



7月29日  
第15回金属換金 寄付金合計 58,664,747円



8月2日  
神奈川県横浜市青葉区歯科医師会 納涼会にブース出展

5月27日  
茅ヶ崎市歯科医師会にてプレゼン

7月~  
小児(1型)糖尿病キャンプ 全国47都道府県で開催。全国18ヶ所、歯科医師31名によるボランティア実施。



7月11~13日  
難病児サマーキャンプ「がんばれ共和国in沖縄」実施。



8月1~3日  
難病児サマーキャンプ「がんばれ共和国in神奈川」実施。歯科医師2名によるボランティア実施。



9月26~29日  
難病児のキャンプ「そらぶちキッズキャンプ(北海道)」実施。歯科医師2名によるボランティア実施。



10月~  
そらぶちキッズキャンプ無停電装置の設置完了



9月6~7日  
和歌山県歯科医師会総会にてブース出展

11月11日  
第16回金属換金 寄付金合計 34,823,947円



1月25日  
実践者ネットワーク会議開催(北海道) 産業歯科保健研究会にてプレゼン



1月14~18日  
第3回ミャンマー歯科ボランティアツアー



12月~  
寄付強化月間

2月17日  
第17回金属換金 寄付金合計 87,029,229円



3月  
ミャンマー学校建設 8校開校、合計18校に!



3月13~15日  
世界会議2015 ブース展示



3月30~31日  
全国主要新聞 TOOTH FAIRY 参加医院名掲載

3月  
クリニクラウンの育成、4名が認定試験に合格

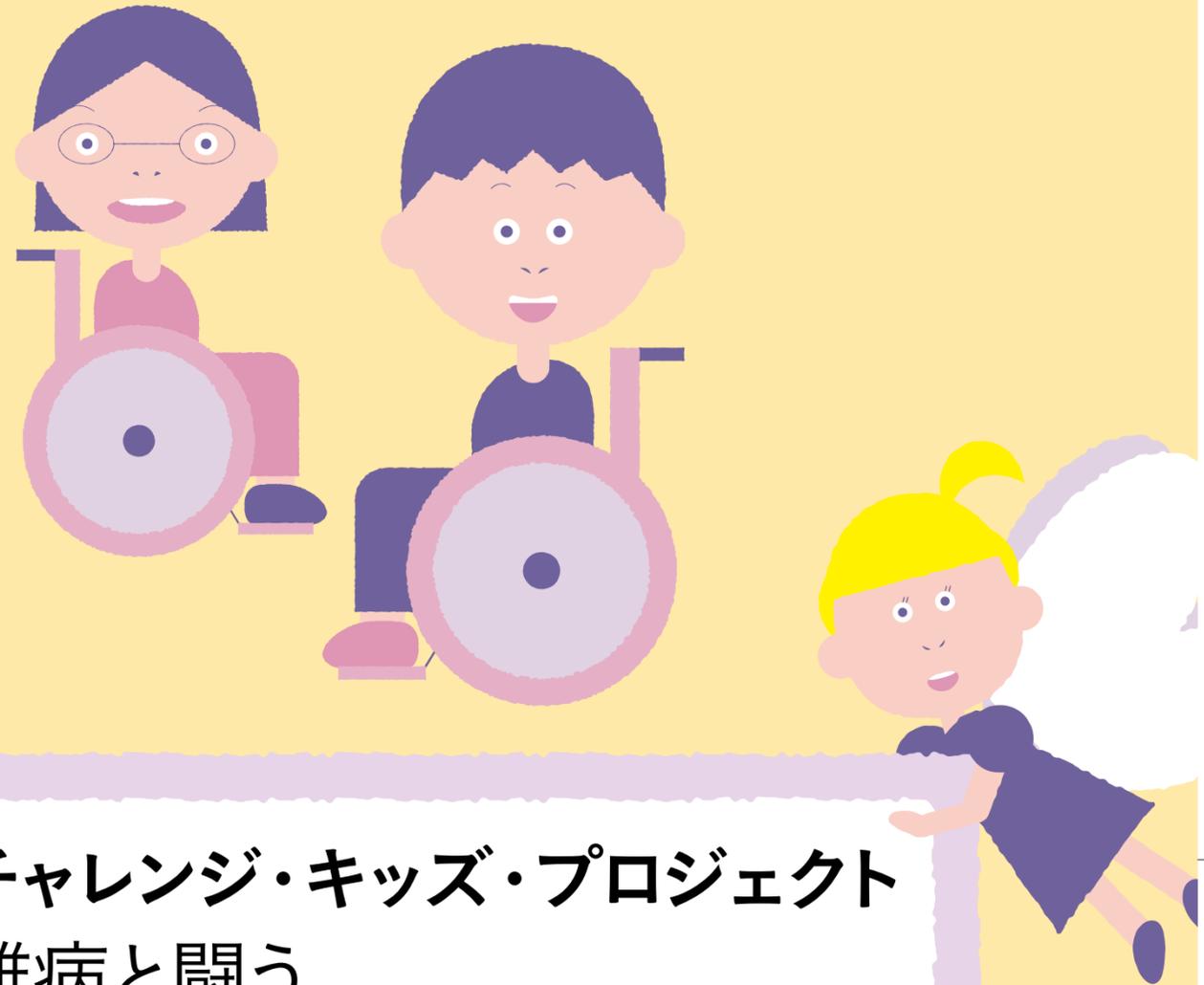


3月15日  
実践者ネットワーク会議開催(山梨県)

通年  
こどものホスピスプロジェクト 自宅などでの難病児レスパイトサービス実施



通年  
スマイリングホスピタルジャパン 入院中の子どもへ、アートによるレスパイト



## チャレンジ・キッズ・プロジェクト 難病と闘う 子どもと家族の支援

現在、日本国内には、約20万人の難病の子どもがいます。子どもが難病と診断された時の不安や苦しみは、本人はもちろん、親や家族にも大きな影響を与えます。病を抱えながら日々成長する子どもたちにとって、治療や入院により、家族や友人、学校から切り離された生活は、辛く、心細いものです。また、家族も、365日24時間体制の看護に加え、急変することも多い子どもの病状に、常に不安の中で過ごしています。「話を聞いてくれるだけでもいいんです。私たちの子どもと、家族のことを知ってくれるだけでも嬉しい」難病の子をもつ母親はそう言いました。日々の生活への支援はもちろん、家族旅行などの特別な思い出作りの両面から、難病の子どもと家族を応援する、TOOTH FAIRYの「チャレンジキッズプロジェクト」。2014年度に行った14のプログラムをご紹介します。

## ご家族からのお便り



# 1年に1度の特別な喜びを 難病の子どもと家族へ贈る、 TOOTH FAIRYのプレゼント

重い病や障害を抱えていても、日々成長する子どもの様子は、家族にとって何よりの喜びです。  
2014年8月、神奈川県で開催された、難病の子どもと家族のファミリーキャンプ「がんばれ共和国」に参加した、  
大山さんから届いたお手紙を紹介します。



ボランティアのお兄さんと一緒にプールへ!

### 子どもの成長を実感した、 思い出のキャンプ

6歳の息子は人工呼吸器を付けていますが、好奇心旺盛で、楽しい事が大好きです。

小学校1年生になった今年、なにか新しい事にチャレンジさせたいと思い、意を決して、家族3人で「がんばれ共和国」に参加しました。

キャンプ前に息子の体調が思わしくなく、不安を抱えながらの参加でしたが、いざ参加してみると医師や看護師が常駐していたこともあり、吸引(※)などの医療ケアを含めて、息子を本当によくみてくださり、私たち親も安心して息子を任せることができました。

プールに入ったり、馬車に乗ったり、深夜の昆虫探検など、普段は決してできない貴重な体験をいっぱいさせていただき、とても楽しむことができました。

息子もキャンプの前から「昆虫ナイトツアーにぜったい行きたい! 気球に乗りたい!」、と、楽しみにしていたせいか、予想外に体調も落ち着き、ほとんどすべてのプログラムに参加することができました。

医療ケアをしてくれる方と一緒に宿泊できるなんて、親としては夢のようです。

息子にとっても、これまでほとんど親から離れる経験をしたことがなかったので、まだ知り合って間もない看

護師のお兄さんたちと一緒に寝たり、お風呂に入ったりしたことで、本人の自信につながり、今までにはない大きな成長ができたようです。

### 難病や障害と闘う 子どもたちのために

息子は帰ってからも、お土産でもらったカブトムシをととても大切にしている、毎日ニコニコ眺めています。そんな息子の様子を見ていると、楽しかったキャンプが続いているようで、私たち親もとても嬉しくなります。

また、キャンプで出会った同じ病気のお友達や、同じ悩みを抱えている家族との出会いも大きな収穫でした。このキャンプでの貴重な出会いを大切にして、今後の生活の励みにしていきたいと思えます。

重度の障害をもった子どもや家族にとって、誰にも気兼ねなく参加できるイベントは貴重です。

今後も、難病や障害と闘う子どもたちが一人でも多く、このようなキャンプに参加して、素晴らしい思い出をたくさん作れるように願っています。

このようなチャンスを与えてくださったTOOTH FAIRYの歯科医師の皆さまに、心より感謝申し上げます。本当にすばらしい3日間でした。ありがとうございました!

※…気道を開放・維持することにより、呼吸への負担を軽減するためのケアをおこなうこと。



## 合言葉は「ともだちつくろう！」 難病の子どもと 家族のキャンプ 「がんばれ共和国」

難病の子供と家族を対象としたサマーキャンプ「がんばれ共和国」を開催。

医療のバックアップのもと、大自然の中で同じ病と闘うお友だちを作り、家族同士の交流や様々な体験を楽しむファミリーキャンプです。

神奈川県のカンパでは、病気や障害により、口腔内に問題を抱えがちな子どもたちのために、2名の歯科医師にボランティアとしてご参加をいただき、口腔ケアを実施しました。

### 開催情報

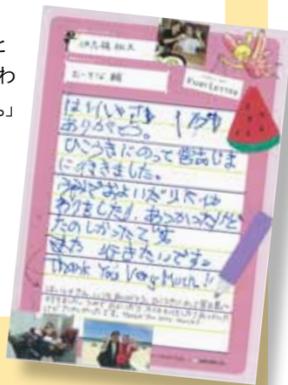
参加人数…312名(患児53名)  
開催日時…2014年7月～8月  
開催場所…沖縄県、神奈川県

### プロジェクトパートナー

認定NPO法人 難病のこども支援  
全国ネットワーク(東京都)

### 参加者の声(フェアリーレター)

「はいしゃさん、いつもありがとう。うみでおよいだり、スイカわりをしたり、たのしかったです。」「普段はなかなか家族でのおでかけができずにいますが、みんなで楽しめた旅行になりました。本当にありがとうございました。」



### 歯科医師によるボランティアを実施！

普段なかなか歯医者さんに行けない子どもたち。「子どもの口腔ケアで相談できてよかった」「また来てほしいです」と大好評。



増井 峰夫先生(増井歯科医院/神奈川県平塚市)



盛田 健司先生(もりた歯科医院/神奈川県海老名市)



## 難病の子どもたちが北海道の大自然を満喫！ そらぶちキッズキャンプ

北海道滝川市にある、豊かな自然に囲まれた難病児専門キャンプ施設「そらぶちキッズキャンプ」。本キャンプでは、難病の子どもたちへ、森遊びやホースセラピーなどの様々な体験を提供しました。

今回は小児がんと闘う子どもたちが参加。入退院のために学校に通えず、後遺症や体力の低下による車いすでの生活に、普段から多くの我慢を強いられています。

子どもたちは、初秋のさわやかな北海道の大地で、持っている力をすべて使って、思い切り遊ぶことで、回復に向けた自信や勇気を得ることができます。また、年齢の近いボランティアのお兄さんやお姉さんに悩みを打ち明けることができたり、家族同士の交流も深まり、子どもたちにとって、かけがえのない経験となりました。

### 歯科医師・歯科衛生士もボランティアに参加

本キャンプに、ボランティアで歯科医師2名及び歯科衛生士みなさんにご参加いただき、口腔ケアの講話や口腔チェックを実施していただきました。



今回口腔チェックをくださった中村 光宏先生(なかむらファミリー歯科・北海道滝川市)と一緒に

### 開催情報

参加人数…小児がん児童2名とその家族 合計7名  
開催日時…2014年9月26日～29日(3泊4日)  
開催場所…北海道滝川市

### プロジェクトパートナー

公益財団法人 そらぶちキッズキャンプ  
(北海道)

### 参加者の声(フェアリーレター)

「歯医者さんが病気の人たちのために応援してくれてうれしいとおもいました。僕も病気の人たちのために何かしたいと思います。」「今回そらぶちに参加してほくはいっぱい笑いました。ありがとうございました。」





## 全国47都道府県で開催 小児糖尿病 (1型糖尿病)児の サマーキャンプ

小児糖尿病の患児へのサマーキャンプを開催。47都道府県で約1,100名の患児が参加し、大自然でのキャンプを楽しむと同時に、インスリン自己注射や食事制限、低血糖への対処など糖尿病との付き合い方を学びました。

全国で行われたキャンプでは、歯科医師によるボランティアを実施。合併症の一つとして歯周病リスクが高い小児糖尿病の子どもたちに、口腔ケアの指導などをおこなっていただきました。

### 開催情報

参加人数…約1,100名  
開催日時…2014年7月～8月(一部秋季・春季キャンプを含む)  
開催場所…全国47都道府県、48か所  
プロジェクトパートナー…公益社団法人 日本糖尿病協会(東京都)



### 開催情報

#### 1. ウィッシュ・バケーション

開催場所…東京、千葉、大阪、沖縄  
参加者…27家族 計125名  
開催時期…2014年6月～2015年3月

#### 2. 写真展及び報告会

開催場所…東京、仙台、大阪、神奈川、福岡  
参加者…287名  
開催時期…2014年7月～2015年3月

#### 3. ギビングサンクスパーティー

開催場所…東京、大阪  
参加者…245名  
開催時期…2014年8月(東京)、2014年10月(大阪)

### プロジェクトパートナー

公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を(東京都)

### 参加者の声(参加家族)

ボランティアの方の真心に、私達家族の存在が肯定されたような気持ちになりました。このひと時を大切な思い出として、これからの生活の勇気や希望に繋げて行ける様に感じています。TOOTH FAIRYにご支援頂いている歯科医師の皆様、サポートを頂いた多くの皆様に感謝です。

## 難病の子どもと家族が 憧れのテーマパークへ!

## ウィッシュ・バケーション

東京ディズニーリゾートやユニバーサルスタジオ・ジャパンは、子どもたちの憧れの場所ですが、車いすや呼吸器を利用している難病の子どもたちが、家族全員で遊びに行くことは、医療器具や車いすを伴う移動などにより、難しいのが現状です。

本事業では、ボランティアのサポートにより、合計27家族に「ウィッシュ・バケーション(夢の旅行)」を提供。

また、本バケーションに参加した家族が、ホスト役となり支援者をもてなす、「ギビングサンクスパーティー」や、活動報告を兼ねた写真展を行い、難病の子どもを持つ家族の理解促進と、支援者の絆を深めることができました。



## 2014年度 歯科医師による ボランティア実施場所

参加歯科医師数 歯科医師30名(17か所)



山形県 山田 雄大先生

石川県 藤邑 守成先生  
石川県 竹中 望先生  
石川県 西夢 直規先生

大阪府 池澤 高志先生  
大阪府 上原 裕之先生  
大阪府 今井 敦子先生



山口県 東村 石万先生  
山口県 福永 恭紀先生

長崎県 角町 正勝先生  
長崎県 須田 晶先生  
長崎県 東 義隆先生

福岡県 鶴田 哲昭先生



熊本県 伊藤 道子先生  
熊本県 伊藤 明彦先生

佐賀県 沖 宜親先生

大分県 藤垣 雅士先生



徳島県 岡本 好史先生



和歌山県 柏木 健生先生  
和歌山県 平林 佐俊先生



千葉県 阿佐見 葉子先生  
千葉県 井出 壹也先生

山梨県 秋山 賢一先生



静岡県 柳川 忠廣先生  
静岡県 中野 芳周先生  
静岡県 尾崎 元紀先生  
静岡県 原 基先生

## 小児病棟の子どもたちへ笑顔を！ 入院中の子どもたちへのレスパイト

闘病のため入院する子どもたちは、学校に行けず、家族や友達からも離され、様々な制約の中で不安な日々を過ごしています。TOOTH FAIRYは、そんな子どもたちのために、アートや遊びなど楽しい経験を提供し、子どもたちに闘病への意欲を増加させ、発育をサポートしています。

## 本物のアートと笑顔を！

治療により辛い入院生活を送る子どもたちのために、プロのマジシャンや画家、演奏家などを小児病棟に派遣。子どもたちの不安を軽減し、闘病生活を前向きになるために、遊びを通じた創造性あふれる豊かな時間を提供しました。



**実施状況**  
参加人数…5,670名  
開催日時…通年(189回実施)  
開催場所…東京、神奈川、京都、宮城など医療施設の小児病棟など8施設

**プロジェクトパートナー**  
特定非営利活動法人  
スマイリングホスピタル  
ジャパン(東京都)

## 笑顔を届ける臨床道化師 “クリニクラウン” 新たに 4名が誕生！

「クリニクラウン」とは、「病院(クリニック)」と「道化師(クラウン)」を合わせた造語です。厳しい入院生活により、学校に通えず、友達や兄弟との面会も制限され、辛い思いをしている子どもの病室を訪問し、遊びやコミュニケーションを通して、子どもたちの成長をサポートします。

TOOTH FAIRYの支援により、新たに4名の研修生が認定試験に合格。2015年度から全国のこども病院などに定期的に派遣され、年間を通じて活躍します。



**実施状況**  
養成トレーニング(9回)、小児病棟での臨床研修(28回)  
合格者…4名  
開催時期…2014年4月～2015年3月  
今後の活動場所…岩手、宮城、京都、大阪などの小児病棟(9か所)

**プロジェクトパートナー**  
特定非営利活動法人  
日本クリニクラウン協会  
(大阪府)

## 難病児の家族へ ひと時の休息を。 訪問型レスパイト サービスの提供

在宅看護を必要とする難病児の数に反して、日本国内では一時預かりなどの受け入れ施設がほとんどなく、休みなく看護する家族の精神的・肉体的な負担は多大了。

TOOTH FAIRYでは、看護師などの医療チームが家庭を訪問し、家族にはひと時の休息を、子どもたちには楽しみや希望を届ける、訪問型のレスパイト活動を実施しました。

本事業により、在宅で24時間休みなく介護を行い、地域社会から孤立しがちな家族に大きな安心を届けています。



**実施状況**  
開催時期…通年  
開催場所…参加者の自宅、大阪市立総合医療センター、関西大学、関西国際大学、大阪市立光陽特別支援学校など  
開催状況…(合計92回、参加者735名)  
1.自宅訪問によるレスパイト…77回 456名  
2.わくわくタイム(デイケア)…6回 35家族 118名  
3.わくわくプレスクール(就学前デイケア)…6回 31家族 101名  
4.トラベルメイト(小旅行)…3回 15家族 60名  
5.特別支援教育(難病児教育支援)…通年 1名  
6.ピリプメント(難病の子どもを亡くした両親へのケア)…訪問2回、電話相談1回、研修7回  
7.公開小児ホスピスセミナー開催…1回 参加者351名

**プロジェクトパートナー**  
一般社団法人 こどものホスピスプロジェクト(大阪府)



### 若者世代の小児がん患者への サポートプログラムの提供

思春期や若成人期の小児がん患者・回復者を対象に、日常生活・復学・就職などの悩みを聞き出し、医療・福祉・教育関係者と検討会を実施。就労ワークショップやインターネットをつかった情報発信など小児がんの経験者へのサポートプログラムを作成し、試験的に実施しました。

**実施状況**  
開催時期…2014年8月、2015年3月  
参加者…小児がん経験者39名

**プロジェクト・パートナー**  
(特)チャイルド・ケモ・ハウス  
(兵庫県)



### 小児難病児支援 実務者ネットワークの構築

主にTOOTH FAIRYで支援している小児ホスピス、レスパイト活動を行う団体の実務者が集まり、事例や課題の共有を行うことで、相互連携を進め、活動のレベルアップを図りました。経験が不足する日本の小児レスパイト団体にとって非常に貴重な場となっています。

**実施状況**  
事例発表、組織体制、ファンドレイジングなどについて情報交換を行いました

①開催場所…北海道滝川市 / 参加者…4団体 8名 / 開催時期…2015年1月  
②開催場所…山梨県北杜市 / 参加者…6団体 17名 / 開催時期…2015年3月

**プロジェクト・パートナー**  
(公財)そらぶちキッズキャンプ



### 難病の子どもと家族の ドキュメンタリー映画の作成

難病の子どもとその家族の生活に密着し、家族の心境をつづったドキュメンタリー映画の制作を支援。全国各地で上映することで、難病の子どもと家族への理解を広げ支援の拡大につなげることを目指しています。

**実施状況**  
2016年2月 公開予定

**プロジェクト・パートナー**  
(公社)難病の子どもとその家族へ夢を(東京都)



## 難病児を支援する 素敵な施設を！

TOOTH FAIRYは、難病や重い障害をもった子どもたちと家族が、日常的に利用できるレスパイト施設の建設・整備を進めています。これまでに建設した、兵庫県神戸市の「チャイルド・ケモ・ハウス」に続き、2014年度は、北海道、宮城県、奈良県、熊本県と、各地にレスパイト施設などを建設・整備しました。

### 過去の事業紹介

#### 大切な家族と過ごす、夢の病院 小児がん専門治療施設 チャイルド・ケモ・ハウス

2012年度、兵庫県神戸市に建設した、小児がん専門治療施設「チャイルド・ケモ・ハウス」は、診療を行う「病院」と、小児がんの家族が滞在する「家(ハウス)」が併設された、夢の病院。

2014年度には、19床ある滞在施設(ハウス)に、長期(1か月以上)述べ13家族、短期35家族が利用し、活用が広がっています。



プロジェクト・パートナー NPO法人 チャイルド・ケモ・ハウス(兵庫県)

## 日々の生活で利用できる、 難病児レスパイト施設を建設中。 2015年秋、いよいよオープン！

医療依存度の高い難病の子どもを、日中に一時預かりする施設を宮城県、熊本県に建設。施設には看護師など医療スタッフが常駐し、子どもへのリハビリや遊びを通じた発達支援を行います。また、家族に一時の休息を提供することで、生活の質を大きく向上させることを目的としています。開所後は、地元の小児科医と連携し、医療と福祉の両制度を活用した運営を目指します。



#### 小児レスパイト施設(宮城県)

建設地の宮城県名取市は、東日本大震災により、難病の子どもの介護を支えていた祖父母が亡くなるなど、支援の必要性が高い地域です。本施設は2台のトレーラハウスを改造。難病児の一時預かりや入浴や食事の介助などをおこないます。

**実施状況**  
2015年10月に開所予定  
**プロジェクト・パートナー**  
社会福祉法人 むそう(宮城県)



#### 小児レスパイト施設(熊本県)

開設予定の熊本県合志市は、熊本市など近隣の市町村に、難病児を受入れる事業所がなく、支援の必要性が高い地域です。地方における難病児受け入れ施設として、期待されています。

**実施状況**  
2015年11月に開所予定  
**プロジェクト・パートナー**  
特定非営利活動法人 NEXT EP(熊本県)



#### 小児レスパイト施設(奈良県)

奈良親子レスパイトハウスは、東大寺の境内と僧房の提供を受けて、家族で古都・奈良の観光を楽しむ親子レスパイトをおこなっています。TOOTH FAIRYでは、難病児が利用する上で高い段差などがある厨房と浴室を整備し、利用者の安全性と利便性を向上するため施設の改修工事を実施しています。

**実施状況**  
2016年3月に工事完了予定  
**プロジェクト・パートナー**  
一般社団法人 奈良親子レスパイトハウス(奈良県)



#### 難病児専用キャンプ場へ 無停電装置の設備及び遊具の整備(北海道)

北海道滝川市にある難病児専門キャンプ施設「そらぶちキッズキャンプ」にて、冬季は豪雪のために停電が起こる可能性があるため、緊急時の医療体制を確保するための無停電装置を整備しました。また、車いすのお子さんでも楽しむことができる木製遊具を設置。本施設は、アジア圏の難病児キャンプのモデルと位置付けられており、今回の支援により、プログラムの更なる充実が図られます。

**実施状況**  
1. 無停電装置：整備完了  
2. 木製遊具：整備完了  
**プロジェクト・パートナー**  
公益財団法人 そらぶちキッズキャンプ(北海道)



## スクールプロジェクト 日本の歯科医師による 国際貢献

2011年3月の民主化以来、急速な経済発展を遂げる、  
“アジア最後のフロンティア”ミャンマー。

都市部では世界各国から活発な経済投資や政府のインフラ整備が進む一方、  
農村地域や少数民族地域との格差は現在のミャンマーにとって最大の課題です。  
TOOTH FAIRYでは貧困により学校に通うことができない  
へき地・少数民族地域に学校建設を行うと同時に、  
無歯科医村の子どもたちを対象とした口腔ケアの啓発活動を行っています。



## 村民全員が協力！ 子どもたちに継続的な教育をおこなう TOOTH FAIRYの学校建設

「これまでは学校がなかったから進学を諦めていたけど、  
新しい学校ができたので、一生懸命勉強したいです」

ミャンマーをはじめ、発展途上国において、貧困による  
負の連鎖が続くことにより行われる児童労働。子どもた  
ちに与えられる仕事のほとんどは単純労働、重労働であ  
り、教育や成長のおおきな妨げとなります。

TOOTH FAIRYでは、山岳部など少数民族が住む地域  
に、2014年に開校した8校を加えて18校の学校を建設。  
これまでに4,500名以上の子どもたちが教育を受けられ

るようになりました。

学校を建設する村落には、校舎の建設費の1/4を自  
己負担させ、建設協力も行わせることで、自立運営への  
意識づけを行います。

同時に、共同農園経営や小規模農業融資などの収益事  
業の村落開発プロジェクトを行うことで、学校の運営資  
金を確保し、その収益を教員確保や学校備品補充などに  
充て、継続的に質の高い教育を提供しています。



# 「一所懸命勉強したい!」 TOOTH FAIRY 学校 新たに 8 校オープン!

「この学校は日本の歯科医師の寄付により建設されました」  
ミャンマー特有の、鮮やかなライトグリーンの校舎には、日本語で書かれた記念碑が刻まれています。

日本から飛行機で8.5時間、大都市ヤンゴンから雨季を間近に控えた高温多湿の田園地帯を車で3.5時間、さらにポートで1時間川を下り、船着場から車両の通れない細いあぜ道をバイクで15分駆け、ようやく到着した貧しい農村。

途方もなく遠く離れたミャンマーの地に、新しいTOOTH FAIRY 学校が誕生しました。

今回開校式が行われたジージャウン校は、かつては雨季になると、穴の開いたトタン屋根の校舎に雨が激しく打ちつけられ、雨漏りや轟音で授業が中断するため、子どもたちは満足に勉強をすることができませんでした。

TOOTH FAIRY の支援により、コンクリート製で風雨に負けない頑丈な校舎が完成したため、多くの子どもたちが、快適に勉強できるようになったのです。

2015年5月、行われた開校式には、日本歯科医師会・足立英二事務局長が臨席。

「歯磨きも勉強も続けることが大切。新しい学校で勉強に励んでください」と祝辞をいただきました。



学校の壁に刻まれた記念碑



日本歯科医師会・足立英二事務局長(右)



2010年度  
パウンピアー小学校



2010年度  
タンテー高等学校



2010年度  
カンバーニ小学校

## ミャンマーの子供たちからのお手紙紹介!

### Par Nway (パーヌウェイ) 公立小学校のこどもたち

「日本の歯医者さん、ありがとうございました。遠い国の日本の歯医者さんが私たちのために学校を建ててくれて、心から感謝します。いつも学校が始まる前に校舎やトイレ掃除をしてきれいにしています。いつか私たちの学校に遊びに来て下さい。」

### Kam Barr Ni (カンバーニ) 公立小学校のこどもたち

「新しい学校ができて、勉強をしたり、友達と遊んだりするのがとても楽しいです。学校に来るたびに心から感謝しております。私の村には歯科医院がないので、大きくなったら歯医者さんになりたいです。」



# ミャンマーに 18 校建設 TOOTH FAIRY の学校って どこにあるの?

2014年度、新しいTOOTHFAIRY 学校が  
8校開校しました。  
これまでに開校した18校をすべてご紹介します。



2010年度  
No.27 小学校



2010年度  
パーヌウェイ小学校



2010年度  
ホッポン高等学校



2010年度  
コンジャウン小学校



2010年度  
リンケイ小学校

2014年度  
イェーピュー中学校

2014年度  
インマ小学校

2014年度  
インゼイ中学校

2014年度  
セツウワフ中学校

2014年度  
マウンティー中学校

2014年度  
ジージャウン準中学校

2014年度  
ナヌインガイ中学校

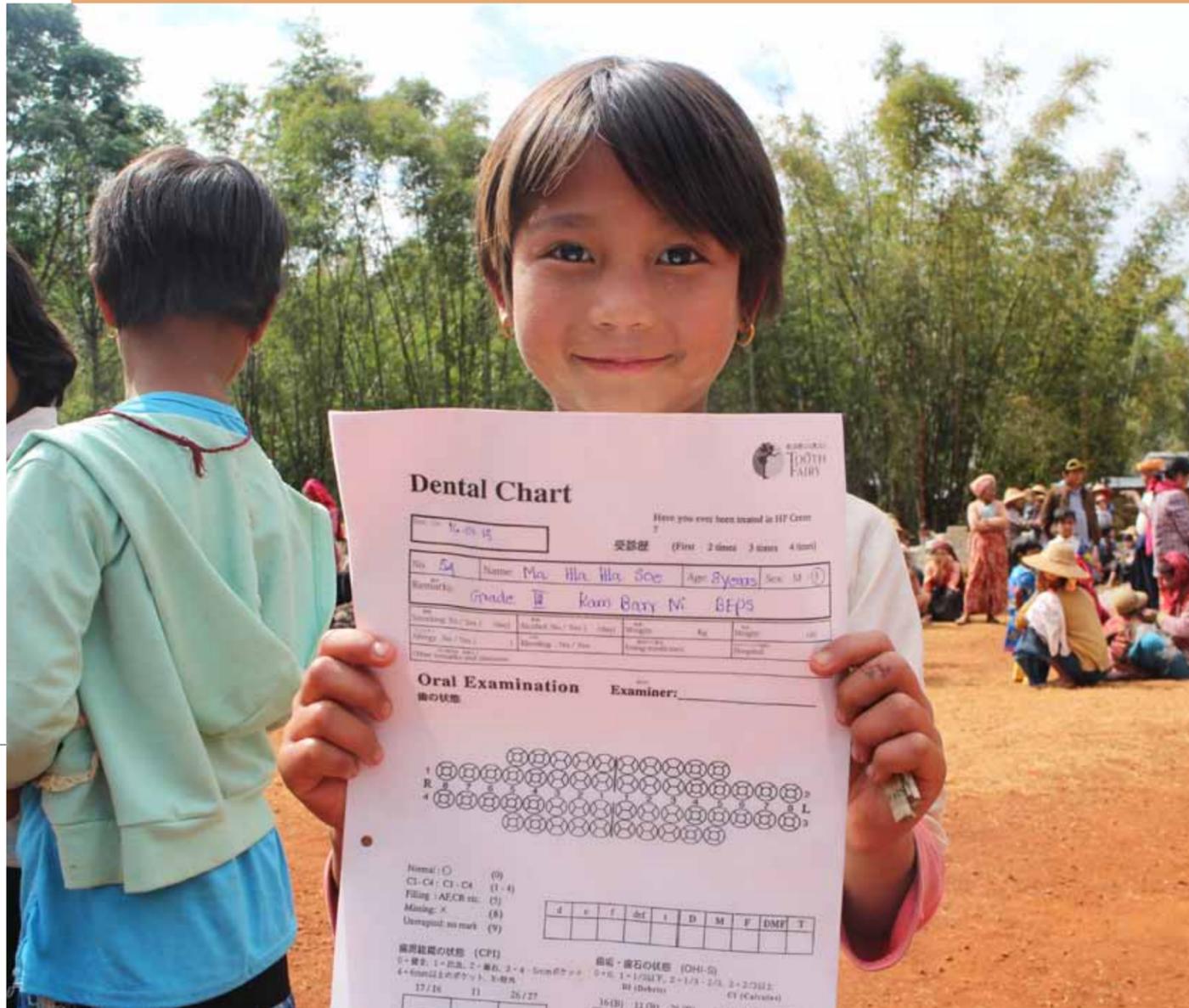
2014年度  
ピャンイェー  
ジョー中学校



2010年度  
ロンカン小学校



2010年度  
ナンパン小学校



## レポート 第3回 ミャンマー歯科ボランティアツアー

2014年度は全国から13名の歯科医師が参加。言葉も通じず、日本とは環境がまったく異なる地ではありながら、どの先生も身振りや手振りを駆使し、ミャンマー語のメモを片手に、子どもたちの口腔チェックや歯みがき指導をおこなっていただきました。

今回初めて訪問したカンバーニ村は、ミャンマーの中でも奥地の山岳地帯にあり、乾季には水が枯れるため、「歯を

みがく」という考えが定着していません。先生方は、村の人々が普段食べている料理や、住居を見学し、村人との交流を通じて、村の生活に合った、口腔ケアの指導を実施しました。

予想外の雨や寒さにも苦戦した、ツアーの様様をお届けします！

### 訪問校紹介

#### カンバーニ小学校

生徒数…約300名

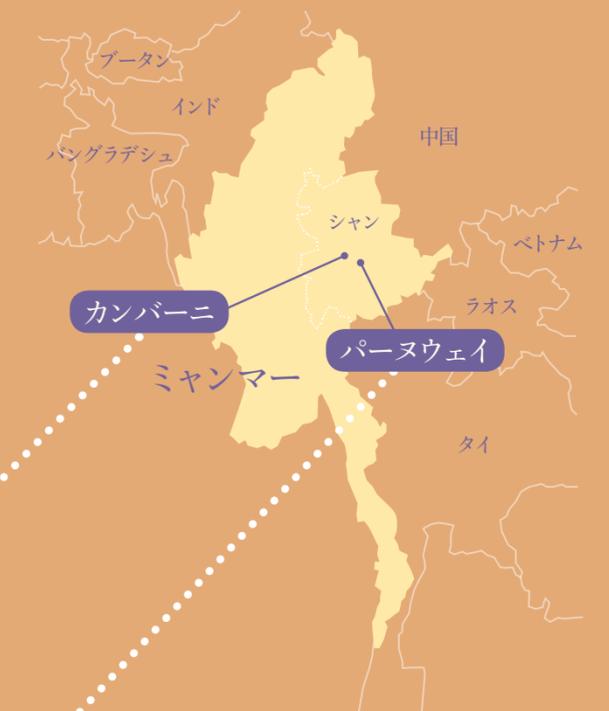
特徴…山岳の村。ライフラインがなく、水は貴重なため、歯みがき習慣はない。甘いものがないので、歯石は多いがむし歯は少ない。



#### パーヌウェイ小学校

生徒数…約50名

特徴…今回で3年連続訪問。近くに小さな商店があるのでお菓子を摂る機会も多く、むし歯が目立つ。初回訪問と比べて、歯みがきが定着してきた。



## ミャンマーの子どもたちに歯みがき習慣を！ 歯科医師だからできる技術支援

TOOTH FAIRYで学校を建設した場所は、政府やほかの国際援助団体の支援の手が行き届いていない、ミャンマーの山岳少数民族地域や地方の貧しい農村地域。子どもたちの生活する村には、電気も水道もなく、もちろん、歯科医院や病院もありません。

2011年度よりスタートした、TOOTH FAIRY 参加歯科医師によるボランティアには、これまでに33名の歯科医師が参加し、子どもたちや村人へ、口腔ケアや、歯みがき指導を

実施。口腔ケアの概念がほとんどない異国での指導に、多くの歯科医師がアイデアを出しながら、村の生活に即した口腔ケアの方法を指導いただきました。

むし歯予防や口腔ケアの啓発活動を行った学校では、子どもたちの歯みがきの習慣は確実に高まり、学校教師による歯みがき指導も、定着し始めています。

歯科医師ならではの国際協力の輪が、広がっています。

### カンバーニ小中学校 訪問スケジュール

8:00	ボートで出発
10:00	小型車両に乗り換え山道へ
11:00	村到着 村視察途中、村の子どもたちとサッカーも
12:30	昼食
13:30	歯科ボランティア開始
14:30	歓迎式典
15:30	学校出発 陸路、水路を経てホテル着



**葉 清貴**先生(宮崎県)  
ずっとボランティアしたいと考えていましたが、今回思い切って参加しました。子どもたちの口腔状況は個人差が大きく、更なる歯科の支援が必要だと思いました。



**大野 真吾**先生(大阪府)  
ミャンマーの子どもたちの、学ぶ喜びに満ちた笑顔が忘れられず、連続参加しました。日本の歯科医療を通じた社会貢献の必要性を感じました。



**前田 龍一**先生(兵庫県)  
2回目の参加だが、自分に対して大きな課題ができた。日本の歯科医師がどういう形で支援できるか、身近な問題も併せて考えてみたい。



**小山 和彦**先生(静岡県)  
口腔ケア指導時は、子どもたちを含め、教師や父兄の真剣な表情に身の引き締まる思いでした。ミャンマーの人との触れ合いで得た幸福感が日本での活力となります。



**伊藤 雅夫**先生・**壽子**さん(兵庫県)  
子どもたちの口腔内状況は決して良好とはいえず、歯科医師不足の解消が急がれることを痛切に感じました。歓迎してくれたミャンマーの人々に感謝です。



**高村 浩士**先生(大阪府)  
今回初めての参加で、多くの歯科の先輩方に支えられ、良い経験となりました。これからもボランティアに参加していきたいです。



**角町 正勝**先生(長崎県)  
こういった活動は個の力では限りがあります。今後も大きな力でミャンマーの人々を支えることが大切だと思うツアーでした。



**宮本 良**先生(長野県)  
異邦人である我々に、何のてらいもなく見せる笑顔に接し、自然にこちらも笑顔になっていることに幸せを感じました。



**三上 博子**先生(大阪府)  
一生懸命に毎日を通し、子供たちを見守り、私たちを心底歓迎してくれる村の人達。彼らと触れ合い、心があたたかくなりました。



**江並 正博**先生(大阪府)  
村の視察をし、現地の人に直接触れあう機会ができて良かったです。純粋な子ども達や村人たちと触れ合い、この気持ちを大事にしていきたいです。



**坂口 智計**先生(兵庫県)  
3年連続の参加で、憶えている子ども達も嬉しかった。ミャンマーの子ども達とずっと遊んで、日本を知ってもらいたいです。



**福田 英輝**先生(長崎県)  
奥地の村で村人からの歓待を受けて、感動した。いろいろな形で支援できると思うので今後とも支援していきたいです。

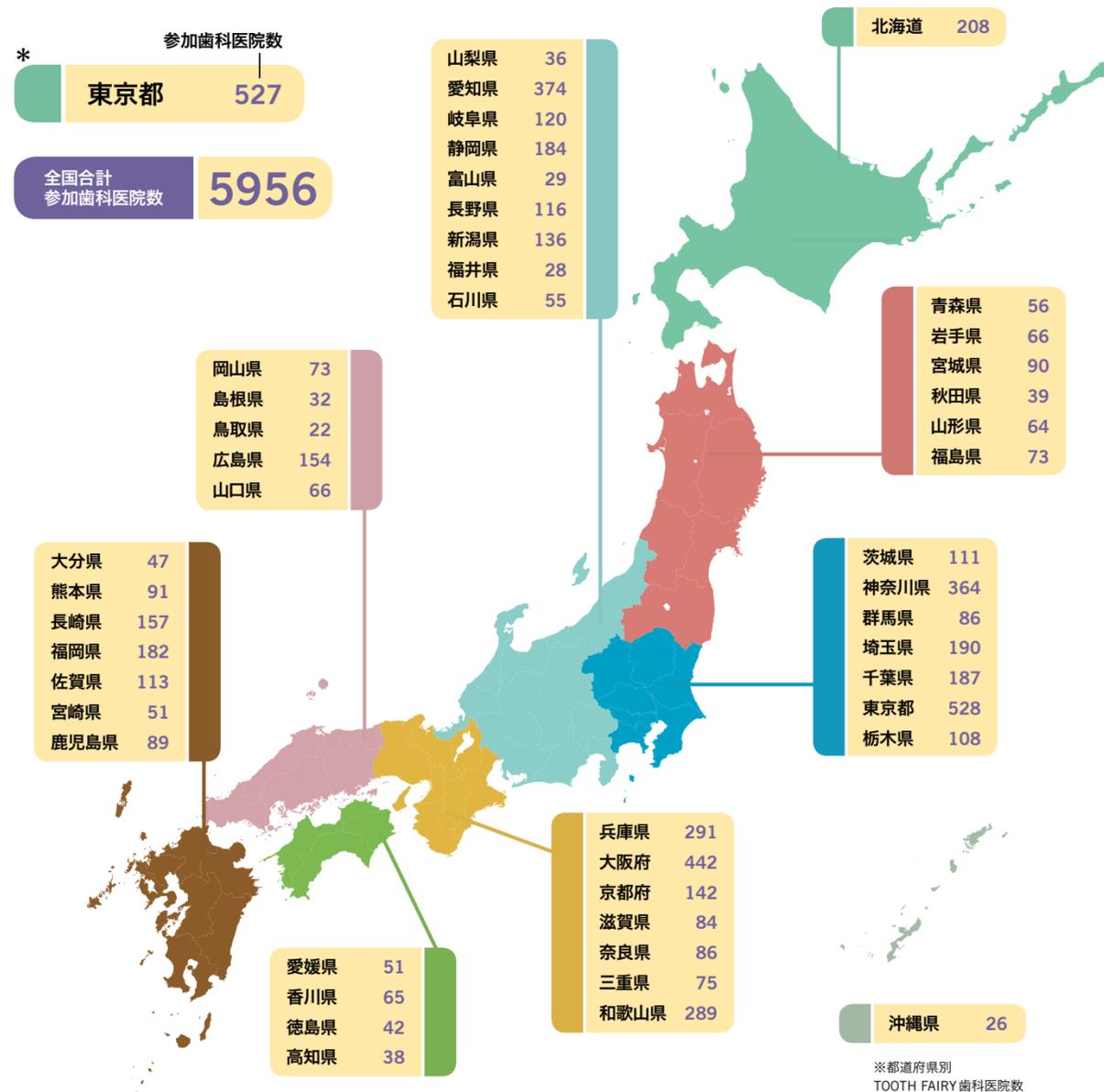


**井出 壹也**先生(千葉県)  
村の人々の心からのもてなしに、日頃感じたことのない心揺さぶられる体験をしました。



# 全国から集まった ツアー 参加メンバー

## 数字で見る TOOTH FAIRY



## 寄付金属リサイクル換金結果

回換金	寄付金額 ※1	寄付件数合計	総重量 ※2	回収期間
第15回換金	58,664,747円	396件 参加歯科医院…371件 個人…25件	120.710 kg	2014年2月11日 ～2014年7月25日
第16回換金	34,823,947円	229件 参加歯科医院…209件 個人…20件	77.355 kg	2014年7月26日 ～2014年11月8日
第17回換金	87,029,229円	672件 参加歯科医院…660件 個人…12件	175.932 kg	2014年11月9日 ～2015年2月17日

※1…寄付金額=売却金額-分析手数料-預り消費税 ※2…回収袋を開封後、指定容器の重量を除いた重量。ただし日本財団指定の容器以外重量及び有価金属以外の金属、その他の材料等の重量含む

## 収支報告 (自2014年4月1日 至2015年3月31日)

(単位:円)

収入の部	金額
歯科撤去金属売却収入 ※1	184,931,665
現金寄付金収入 ※2	1,068,648
当期収入合計	186,000,313
前期繰越収支差額	406,216,483
収入の部合計	592,216,796

※1…第15回～第17回換金の金属売却金額(税込)から預かり消費税を引いた額。  
 ※2…TOOTH FAIRY 参加歯科医院や個人からの寄付。  
 ※3…本事業は500,000米ドルで決定し、1米ドル=100円で算出していたが、急速に円安が進んだため、1米ドル=121.24円にて決算致しました。  
 ※4…本事業は、2015年度に延長して実施していますが、当財団の決算処理に依り、2014年度において未払い計上し、決算致しました。延長事業については引き続き経過を支援、監督し、事業完了後、監査を実施します。  
 ※5…金属の分析精製手数料(税込)。



(単位:円)

支出の部	金額
ミャンマー学校建設 ※3	60,620,000
施設整備事業	30,700,000
(特)むそう ※4	85,220,000
(特) NEXTEP ※4	15,500,000
(一社) 奈良親子レスパイトハウス ※4	12,900,000
(公財) そらぶちキッズキャンプ ※4	4,970,000
(一社) こどものホスピスプロジェクト	8,920,000
(認特) 難病のこども支援全国ネットワーク	8,800,000
(公社) 日本糖尿病協会	4,600,000
(公財) そらぶちキッズキャンプ	5,400,000
(公社) 難病の子どもとその家族へ夢を	2,600,000
(特) スマイリングホスピタルジャパン	4,000,000
(特) 日本クリニックラウン協会	3,460,000
(特) チャイルド・ケモ・ハウス	2,700,000
ネットワーキング事業	2,500,000
(公財) そらぶちキッズキャンプ	252,890,000
(公社) 難病の子どもとその家族へ夢を	4,413,742
事業支出合計	257,303,742
換金手数料支出 ※5	▲71,303,429
当期支出合計	334,913,054
当期収支差額	
次期繰越額	

### TOOTH FAIRY 応援歯科医師会、歯科大学同窓会ご紹介

- 歯科医師会
- 山梨県歯科医師会(岐阜県)
  - 中京歯科医師会(京都府)
  - 東海市歯科医師会(愛知県)
  - 河内長野市歯科医師会(大阪府)
  - 和歌山市歯科医師会(和歌山県)
  - 伊都歯科医師会(和歌山県)
  - 小城多久歯科医師会(佐賀県)
  - 唐津東松浦歯科医師会(佐賀県)
- 歯科大学同窓会
- 福岡歯科大学 長崎県支部同窓会「歯ってん会」(長崎県)

### TOOTH FAIRY 協賛企業・団体ご紹介

- 株式会社 ウィルアンドデンターフェイス
- 株式会社 サンスター
- セイワリファレンス株式会社
- 有限会社 錦部製作所
- POIC®(専門的口腔感染症予防)研究会  
(※敬称略・50音順)
- 
- 株式会社サンスター様から、歯ブラシのご寄付をいただきました

※TOOTHFAIRY 応援歯科医師会、歯科大学同窓会とは？  
 歯科医師会全体で活動に賛同し、積極的に応援していくと表明していただいた団体。会での寄付やご支援をいただいております。

## TOOTH FAIRY Q&A

### Q1

どんな金属をリサイクルするの？

### A.

歯科の治療で使用される金属(金、プラチナ、パラジウム、銀)の他、入れ歯を支えるブリッジや、時計、アクセサリなどの有価金属をリサイクルしています。

### Q2

換金された資金はどのように活用されるの？

### A.

本プロジェクトに係る管理費(※)や人件費などは、すべて日本財団が負担し、寄付金はすべて支援の現場で子どもたちのために活用されます。  
 ※金属リサイクルに伴う分析精製手数料、支払手数料及び支払消費税は、金属の換金額から差し引かせていただいております。

### Q3

リサイクルする会社はどんな基準で選んでいるの？

### A.

金属を引き渡す時には含有金属量が確定できないため、業者の信頼性が必要なこと、溶解技術力は各社で異なることなどから、手数料の優劣だけでなく、会社の規模、実績、自社分析工場を持っていることなどを勘案し、規定を満たした会社と基本契約を結んでいます。

## これからのTOOTH FAIRY

国内では引き続き難病児支援を実施。在宅生活者に加え、入院する子どもたちに対する病棟訪問型の支援も拡大していきます。国外ではミャンマーでの学校建設とボランティアによる歯科交流を継続。民間ならではの国際交流をおこないます。

### 国内 チャレンジキッズプロジェクト



#### 1. 日常の支援

小児難病児の一時預かり施設を栃木県に建設予定。医療と介護の両面から難病の子どもと家族を支える体制づくりをおこないます。また、訪問型レスパイトやボランティアの研修なども継続して実施します。

#### 2. 非日常の支援

山梨県に難病児と家族が利用できる、ログハウスを建設予定。大自然の中で特別な体験をつむことで、生きる力を養う場所の整備をすすめます。またキャンプや家族旅行など、外出が難しい難病の子どもと家族へ、特別な思い出をプレゼントします。

### 国外 スクールプロジェクト



2015年度は、ミャンマーに6校の学校建設を予定しています。ミャンマー南西部のイラワジ州は、テイン・セイン大統領やウ・タント第三代国連事務総長など、人材輩出地域であり、この地での教育改革は、ミャンマー全土への波及効果も期待されると考えています。TOOTHFAIRY参加歯科医師によるボランティアツアーも継続して実施。ミャンマー歯科医師会と協働して、口腔教育の拡大と民間での国際協力をめざします。

### スタッフからのご挨拶

チームリーダー  
長谷川 隆治 ながせがわ・りゅうじ

難病と闘っている子どもたちの数は少なく、声を上げてもなかなか社会に届きません。しかし、全国5800を超える歯科医院と、そこに集う患者様が、彼らの声を受け止め、広く発信して下さること、「ひとりじゃないよ!」というメッセージを家族に届けて下さることが、閉塞的だった難病支援分野の大きな推進力につながっていると感じます。皆さまの継続的なご支援に心の底から感謝申し上げます。



小村 悠子 こむら・ゆうこ

「強く想うということは、行動するということ」それは、人と人との関係でも同じことかもしれません。寄付や歯科技術でご支援いただく歯科医師の皆様。様々な趣向をこらしてレスパイトやケアを行うパートナー団体。そして何より、家族みんなで幸せになろうと、TOOTH FAIRYのプログラムに参加する、難病や障害、貧困と闘うお子さんとご家族。出会うすべての人々の想いに、心を揺さぶられる毎日です。そんなプロジェクトに携われる僥倖と、皆様のご理解、ご支援に、改めて心より感謝申し上げます。



樋口 さやか ひぐち さやか

このプロジェクトに携わり、病氣と闘う子どもやご家族から、あたりの「日常」の大切さを改めて教わりました。まだまだ経験も知識も浅いですが、TOOTH FAIRYの活動が益々広がっていき子どもたちの笑顔がもっともっと増えるよう、皆様のお気持ちを子どもたちへ届けて参ります。これからもあたたかいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



# 患者のみなさまへお願い いらなくなった 貴金属や入れ歯を 歯の妖精に 送ってください。



ご自宅のたんすに、昔使っていた入れ歯や金歯・銀歯、貴金属などが眠っていませんか？

歯の妖精「TOOTH FAIRY」プロジェクトでは、入れ歯に含まれる有価金属やアクセサリなどの貴金属を、国内外で難病や貧困と闘う子どもたちをサポートする活動に全額役立てています。

参加方法は、お手持ちの貴金属を、このプロジェクトの実施主体である日本財団にお送りくださるか、TOOTH FAIRY参加歯科医院に持ち込んでいただくだけ。ご不明な点などがありましたら、いつでもお問い合わせください。

#### お問い合わせ・郵送先

〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2  
日本財団TOOTH FAIRY (トゥース・フェアリー) 担当宛  
電話番号…0120-24-2471 (フリーダイヤル/平日9:00~17:00)  
FAX番号…03-6229-5140  
メールアドレス…cc@ps.nippon-foundation.or.jp





日本財団 歯の妖精 TOOTH FAIRY  
〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2  
TEL 0120-24-2471 (平日9:00~17:00)  
Mail cc@ps.nippon-foundation.or.jp



「いいね!」を押して  
TOOTH FAIRYを応援してください!  
<https://www.facebook.com/ToothFairy.fan>